

# 占有周波数帯幅(OBW)及び特性周波数の測定方法(案)

気レ作参6-5

第9回X帯SWG資料 (気レX9-3)

(1) P0NパルスとQ0Nパルスは個別に測定する

- ・ 全体で現行規定の4.4 MHz以下と同等になるようにする
- ・  $\pm 1.25\text{MHz}$ オフセットすると、単純に  $(4.4 - 1.25 \times 2) = 1.9$  [MHz] がOBW許容値と仮定

(2) その他の設定は下表参照

	測定条件	実際の数値例		V0N
		P0N	Q0N	
掃引周波数幅	OBW許容値の6倍程度	12 MHz ( $1.9 \times 6 + \alpha$ )		14.5 MHz ( $12 + 2.5$ )
分解能帯域幅 (RBW)	OBW許容値の1%以上	30 kHz (19 kHz 以上)		
ビデオ帯域幅 (VBW)	RBWと同程度	30 kHz		
データ点数	600点以上	2401点		2901点
掃引モード	繰り返し掃引	繰り返し掃引		
掃引時間	PRFの逆数とデータ点数の積以上	10秒 (1.2秒以上)		10秒 (1.45秒以上)
信号対雑音比 (S/N)	50 dB以上	60 dB以上		
検波モード	ポジティブピーク	ポジティブピーク		
表示モード	マックスホールド	マックスホールド		
特性周波数	ピークから一定割合電力低下した周波数の平均	-3 dBpp となる周波数の平均	-10 dBpp となる周波数の平均	TBD

※ データ点間隔が測定誤差になる。この例で $\pm 5$  kHz ( $\pm 0.53$  ppm)

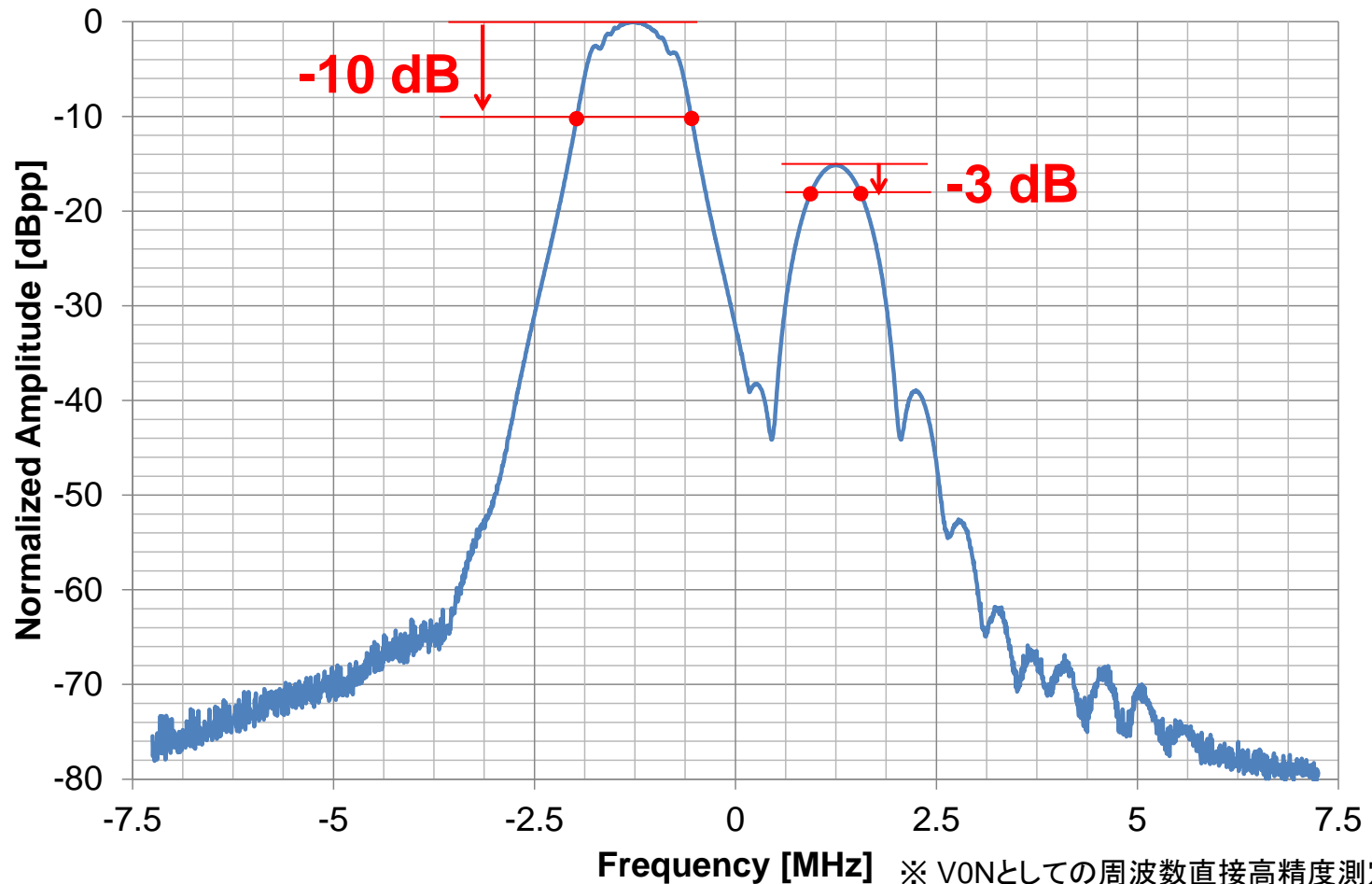
# スペクトル測定結果例

占有周波数 帯幅 [MHz]			送信周波数 偏差 [kHz]		送信周波数 偏差 [ppm]	
P0N	Q0N	V0N	P0N	Q0N	P0N	Q0N
1.26	1.58	3.48	-2.5	-10.0	-0.27	-1.06

送信パラメータ(距離分解能:150 m)

P0N パルス幅:1  $\mu$ s

Q0N パルス幅:50  $\mu$ s, 変調幅:2 MHz



※ V0Nとしての周波数直接高精度測定は困難